

令和7年度 学生プロジェクト 公募要領

1. 目的

本事業は、課題探求とその解決能力を涵養し、工学基礎力と共に、コミュニケーション能力、及び幅広い教養を身に付け、企業や社会において先導的リーダーシップを発揮することのできる創造的人材の育成を目的とする。

2. プロジェクト

(1) 創造学習プロジェクト

既に活動実績があり、「5. 公募の対象となる活動」の①～⑥を行う団体の中から優れたものに対し、明専会及び協賛企業の協力により、支援する。

(2) 夢チャレンジプロジェクト

将来的に創造学習プロジェクトの一つの活動となるよう発展が見込まれる「5. 公募の対象となる活動」の①～⑥に該当する団体に対し、新規プロジェクトのスタートアップを支援する。

3. 応募資格

学生の自主的な応募とし、工学部、情報工学部、工学府、情報工学府及び生命体工学研究科に在籍する学生グループで必ず指導教員が配置されていることとする。

なお、学生グループは、複数の学部・学科、研究室等の学生5名以上で構成されていることを要件とし、複数の学年の学生10名以上で構成されることが望ましい。

参加する学生は、1つのプロジェクトのみに参加することが望ましい。

他のプロジェクトのグループと重複して参加する場合には、参加するいずれか1つのプロジェクトにのみ名前を記載すること。

4. 支援対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日

5. 公募の対象となる活動

以下の課外活動に取り組む学生団体を公募対象とする。

ただし、修士論文及び卒業研究並びに正規の授業等に関連して実施するものは除く。

- ① ハードものづくり系活動
- ② ソフトものづくり系活動
- ③ 工学基礎力を活かしたボランティア・地域連携諸活動等
- ④ 工学基礎力を活かした調査活動（科学技術や①～③の活動のための予備調査等）
- ⑤アントレプレナーに関する諸活動等
- ⑥ その他の創造学習活動

6. 支援額、採択件数

(1) 創造学習プロジェクト

支援額は総額1,450万円程度、採択件数は15～20件程度とする。
ただし、助成金の限度額は、1団体200万円とする。

(2) 夢チャレンジプロジェクト

将来的に創造学習プロジェクトへの発展が見込まれる新規プロジェクトのスタートアップ支援として、萌芽的な取組を行う団体に対し、総額150万円を支援し、採択件数は5件程度とする。
ただし、助成金の限度額は、1団体30万円とする。

(3) 支援総額及び採択件数は、予算の都合により、変更する場合がある。

(4) 活動に必要と認められる経費は、物品費（消耗品を含む。）、旅費、通信・運搬費、謝金等とする。
※経費に占める旅費は、支援総額の1/2を超えてはならない。

(5) 同一プロジェクトで(1)及び(2)に重複して応募することは認めない。

(6) (1)で応募したプロジェクトであっても、審査の結果によっては(2)で採択することがある。
同様に、(2)で応募したプロジェクトも、審査の結果によっては(1)で採択することがある。

(7) 応募した活動が採択された場合は、指導教員の予算コードに助成金を振替える。

(8) 着実な予算執行を行うこと。例年、まとめて会計入力され、着実な予算執行が疑われる例が散見するため、12月末時点で、会計システムで確認できる執行状況が、交付額の6割にも満たない場合には、予算を引き上げる場合もある。

7. 特別賞

協賛企業募集中

8. 支援設備等

応募した活動が採択された場合は、学内の設備を利用することができる。利用する関係学科等と事前（申請前）に協議しておくこと。

9. 応募方法と採択までのスケジュール

(1) 応募書類と提出方法

応募にあたっては、申請データを書類提出先に提出してください。

※名簿は、エクセルの電子媒体で提出してください。

二次審査に進んだ団体は、ヒアリング資料（予稿）を書類提出先に提出してください。

※いずれの資料も電子媒体で提出してください。

なお、ヒアリングは、ポスター発表の形式で実施します。予稿はA4で1～2枚、ポスターはA4・1枚で作成してください。

ポスター発表の際に、横幅88cm×高さ148cmのスペースに、複数の紙を貼って発表をする形式でも構いません。予稿集とポスターには、「9.（2）ヒアリングの評価項目」の①から⑥の項目に関する内容を必ず盛り込んでください。

予稿とポスターを併せて審査を行います。書式は自由ですが、プロジェクト名、発表者の氏名と学年を最初書き、PDFのいずれかの形式で下記まで添付ファイルで提出してください

い。

掲示するポスターは事前提出の必要はありません。当日発表者が各自印刷の上、持参してください。※R6年度と異なり、各自印刷してください。

【申請書】 <http://www.kyutech.ac.jp/campuslife/project.html>

(2) ヒアリングの評価項目

二次審査（ヒアリング）における評価項目は、次に掲げる7項目とし、それぞれ5段階評価で審査を行う。

- ① 募集の趣旨 : 申請内容が本プロジェクト募集の趣旨に合致しているか。
競技会出場を目的にすることや、競技会での上位を目指すだけでなく、学生プロジェクトの趣旨である創造的人材の育成のために、何を達成しようとしているのか、何を達成することができるのか明記してください。
- ② 申請内容の計画性 : 予算を含め、申請書の計画は無理なく、妥当か。
- ③ 創造性・成長性 : 申請内容が創造的で、今後も発展していくか。
競技会出場を計画している団体は、競技会出場を通じて、団体・個人として何を達成するのか、何を達成できるのかを明記してください。
- ④ 取組みの実現可能性 : 申請内容を推進していく組織体制が整い、ミッション達成（成果）が見込めるか。
- ⑤ 貢献度 : 本学等に対する貢献度
- ⑥ 前年度の実績 : 前年度の実績（成果）の達成度（※継続申請団体が対象）、前年度における計画的な予算執行状況
- ⑦ プレゼン力 : プレゼンテーションが効果的であるか。

(3) 採択までのスケジュール

- ① 公募締め切り 2025年3月21日（金） 期日厳守
- ② 一次審査（書類選考） 2025年4月中旬予定
- ③ 一次審査結果通知 2025年4月下旬予定
- ④ 二次審査（ヒアリング） 2025年6月上旬予定
- ⑤ 採択発表 2025年7月中旬予定

※一次審査を通過した団体は、二次審査としてヒアリングを行うので必ず出席すること。

※公募の結果により、予算の範囲内で第2次公募を実施する場合があります。

10. 報告書

(1) 報告書

応募した活動が採択された場合は、2026年1月下旬までに報告書（計画中途の場合は、中間報告書）を窓口に提出する。また、広報誌『AMBITIOUS』の原稿も併せて提出する。

【報告書ダウンロード】 <http://www.kyutech.ac.jp/campuslife/project.html>

なお、助成金の使途について、報告書を基に監査を実施する。

11. 報告会の実施

応募した活動が採択された団体は、当該年度末に実施する成果発表会に出席しなければならない。

また、個々の活動や学生プロジェクト全体を広報する機会等、イベントがあった場合、可能な限り協力すること。

12. 留意事項

- ・クラウドファンディングについて
可能な限り、クラウドファンディングの申請を検討し、積極的に活用すること。
- ・「Giving Campaign 2025」について
採択されたプロジェクトは、必ず「**Giving Campaign 2025**」へ参加すること。
開催期間（予定） 2025年10月10日（金）～19日（日）
参加方法等詳細は、後日大学HP等にて周知いたします。

13. 問合せ先と書類提出先

【問合せ先】

学生支援課学生生活支援係 Mail : gak-gakshien@jimu.kyutech.ac.jp

【書類提出先】

工学部 工学府	工学研究院事務課学生係	koh-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp
情報工学部 情報工学府	情報工学研究院教務学 生支援課学生係	jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp
生命体工学研究科	生命体工学研究科事務 課学生・留学生係	sei-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp

【クラウドファンディング・Giving Campaignに関する問合せ先】

ソーシャルコミュニケーション課 Mail : sou-renkei@jimu.kyutech.ac.jp